朝鮮獨立運動の背後に勞農政府

ノース、チャイ、ナデリー、ニュース紙は朝鮮獨立黨員等の運動に關し詳細な報道を掲げて曰く朝鮮獨立運動は今や勞農政府の手で操縦され以前の純な獨立運動は全く影を潜めて居る新しい朝鮮大將はイルクツクに於ける過激派本部から武器及び資金の豐富な供給を受けてゐるが彼等の一般的目的は南東一帯に騷亂を惹し日本の朝鮮統治を打ち破らんとするにある而して右の運動援助に對する勞農政府の條件は唯朝鮮が獨立を恢復した場合には露國式の勞農政治を樹立する事だけであると尚デリー、ニュース紙は附言して曰く田中大將を暗殺せんとした朝鮮人は此の新しい獨立黨員で此の一派は上海で有力な團體を組織してゐるらしいと(卅一日上海發國際)

不穩文書の被告 法廷で荒れ狂ふ

警官の証言が偽證と知れ腹を切れと豪語して

(横浜電話)横濱市西戸部町二の四七吉田次(廿六)に係る不穩文書頒布出版法違反事件は愈に横濱縣警官の作成した書類證言が偽證なる事明かになつた場合には警官は腹を切つて天下に謝さなければならぬと附言して閉廷し次回は四月六日午前九時から地方裁判所で禁錮四ヶ月の判決があつたが其控訴公判は三十日午後二時より東京控訴院刑事第四部濱田裁判長松田檢事立會で開廷された布施、藤田、山崎の三辯護士出廷證人として出廷せる神奈川縣高等警部佐藤市次郎の證言は被告に不利であつたので被告は事實が相違してゐると檢事の論告中被告は出獄後神奈川縣の警官を毆つてやると大聲に怒鳴る傍聽席の二青年がやつて仕舞へと共鳴したため早速法廷外に押出されたが法廷は一時騷然の光景を呈し鎮靜の後各辯護士は無罪論を唱し被告は檢事に向い今度の事件で神奈川縣警官の作成した書類證言が偽證なる事明かになつた場合には警官は腹を切つて天下に謝さなければならぬと附言して閉廷し次回は四月六日午前九時

直接運動や過激法案等が議題に上る農民大會

地方組合等に對する態度が觀物

既報の通り全國農民組合本部では來る九日神戸市中山手通六丁目基督教青年會館に於て第一回全國農民組合大會を開催し翌十日午後六時から同所に於て農民問題大講演會を催す筈であるが大會席上附議すべき議案と演說左の如し

大會の順序

一、開會 二、開の辭 理事長杉山元次郎氏 三、歡迎辭 本部員仁科雄一氏 四、答辭 五、各種報告(イ、實務委員報告 ロ、實狀報告 ハ、會計報告 ニ、各地農村狀態報告) 六、討議、

議案

(一) 規則改正の件
(二) 宣言、綱領、主張決議の件
(三) 役員に關する件
(四) 各聯合會及支部に關する件
(五) 宣傳委員設置に關する件
(六) 直接運動に關する件
(七) 隣組農會に對する態度に關する件
(八) 過激法案に對する件
(九) 會費に關する件
(十) 各部委員設置の件
(十一) 小作法案に關する件
(十二) 小作狀態の調査に關する件
(十三) 農村產業組合に關する件
(十四) 農村に於ける普選に關する件
(十五) 半自作農の小作爭議の場合に於ける態度に關する件
(十六) 地方農民組合と日本農民組合本部との聯絡に關する件
(十七) 地主組合に對する態度に關する件
(十八) 治安警察法に關する件

閉會

夜の部

講演又は慰安會(十日午後七時上り)

講師 札幌農大授教法學博士森本厚吉氏▲法學博士今井嘉幸氏▲東京帝國大學助教授農學士有馬賴氏▲賀川豐彦氏▲藝術家山本鼎氏 其他

太田胃散
實質本位
盛んに賣れて胃病藥
本郷 東京 太田信義藥房

東西共產黨益々赤化宣傳

大あわての內務當局は取締るといふが

文復を惹起するか頭を搔かれるか

警保局長の湯地さんがせいせい頭腦明敏な所を發揮して成案した、例の怪物法案さまでもいはれた過激思想取締法案が、會議大詰の瀨戸際でマンマと一蹴され、內務省の面目も丸潰れとなつて了つたが、一方社會主義共產黨赤化宣傳の過激な團體では、益ます主義の宣傳に努めんとする形勢があり、過日來東京に於いても大阪に於いても各所に密會して作戰計畫中この報を得た內務省當局では、假令該法案は葬られ去つても其取締方針に於ては何等變る所なく、寧ろ從前より一層峻嚴な取締りを行ふ方針で警保局では目下其具體案に就いて協議中である、藤岡保安課長は「法案が不幸にして通過しなかつたので、何うする事も出來ぬが又今後の方針に就ては未だ具體的に決定してはゐないが、此儘に打棄てゝ社會主義者の爲すが儘にして置く事は勿論出來ない、從前の法規によつて充分な取締は行はなければならぬ」と語つた

堺眞柄等の公判 明日開廷

露國共產黨大會に出席の爲其筋の目を逃れて露西亞に渡つた貨此二名は公判を分離さるべく目下在監者は山崎悅行、平田晉作、山上正義、中曾根源和、浦出武雄、寺出廣、高津正道、近藤榮藏の八人で其他の高津たよ、仲曾根貞代、堺眞柄、藤岡淳吉、武良二の五名は保釋出獄中で印刷人大島義昇、荒井鶴一郎の二名は不拘留の儘公訴されたものである高橋醫士は今村和雄、原山崎の四氏列席する筈である

主義者公判

二名は行方不明の儘十九日に開廷

近藤榮藏、高津正道、堺眞柄外十四名の主義者公判は十九日に開廷、不穩文書頒布、宣傳、日本共產黨結社

東京の髮結さんが日本一の髮油と賞るホーカー美髮液

清は露國莫斯科の共產黨大會に出席中なる貨此二人は自然公判を分離さるゝに至るだらう

公判は愈、四月廿九日地方裁判所刑事二部宇野裁判長古田檢事係り開廷される事に決定したが被告中の小野榮次郎は數人の刑事に尾行され作らも盲人の身を以て巧に行方を晦ましてしまつた外高瀨清は